

お客様にピッタリのモノをご提案いたします

日射調整フィルムの最適解！

エアコンが稼働しているのに暑い！

体感温度と室温の不思議な温度差 ΔT は、
日射量（日差しの強さ）に比例します。

体感温度を下げるためには、まずはガラスを通過する
日射量を大きく抑える必要があります。

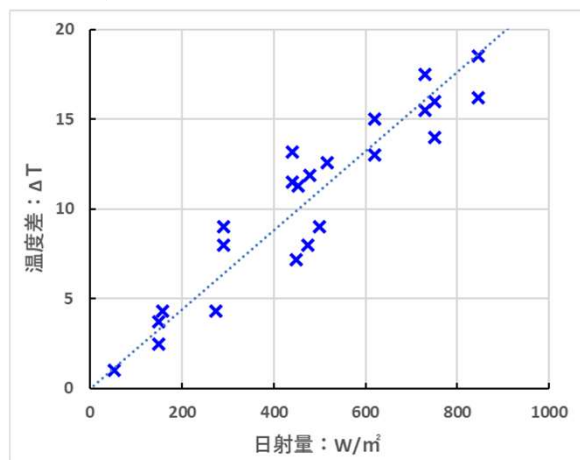
この日射量を抑える製品が、日射調整フィルム なのです。

様々な日射調整フィルムが存在する中で、最適なフィルムを
選択する指標は以下の4つ。

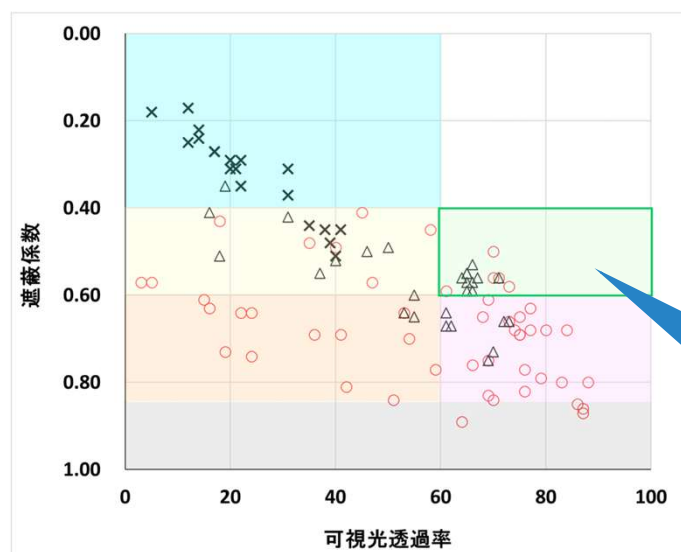
遮蔽係数 **可視光透過率** **可視光反射率** **日射吸収率**

これらの値を総合的に見極めて、お客様のご要望に一番適した製品を選び抜いてご提案いたします。

▼ 日射量と温度差 ΔT の関係



▼ 日射調整フィルムの機能別分布図



可視光反射率が15%未満の製品を○印で、15%～30%の製品を△印で、
30%以上を×印で分類してあります。

日射調整フィルムは、日本では、
JIS A 5759 で一定の区分が定義されています。

例えば、ショーウィンドウの暑さにお悩みのお客様の場合、
遮熱性が高いたけのフィルムを選択しても
ご満足いただけないと考えています。
外観に大きな影響を与えないために、フィルムの色や
可視光反射率も考慮する必要があります。

ショーウィンドウの暑さにお悩みのお客様には、
透明性60%以上で遮蔽係数0.60未満の
このカテゴリーの中で最も高遮熱高透明な
日射調整フィルムをオススメしています。

遮蔽係数0.50の日射調整フィルムを採用すると、
窓際の体感温度が、10℃前後変わってきます。

遮熱対策

熱割れ対策

Wi-Fi対策

原因分析・改善提案から施工管理までワンストップでお任せください。

遮熱技術のよろず相談室

窓の遮熱を考えると、様々な選択肢が存在します。遮熱複層ガラス、遮熱フィルム、遮熱塗料、遮熱カーテン。

しかし、異なる専門用語が並ぶカタログを比較しても、どれが1番自分の目的に相応しいのか分からなくなりますか？

そんなときは、遠慮なく株式会社iPASTまでお問い合わせください。

iQUEフィルムに限らず、お客様のご検討製品も加えて比較した、総合的な改修プランをご提案いたします。

< ご相談の流れ >



安心の遮熱工事 10年保証

ウインドウフィルム施工での不具合の90%は、施工した職人の技術力で決まると言われます。

株式会社iPASTが行うウインドウフィルムの施工は、私たちが直接厳選した熟練の専門工が行います。

また、仕上がり確認も私たちが直接行います。だからこそ、株式会社iPASTのiQUEフィルム工事は、内貼り10年保証。

施工の不具合が発生した場合、無償で修繕いたします。安心して、施工工事をお任せください。

< 施工工事までの流れ >

